

降雪等のため、1～2月は車庫で休んでおりますが、3月より、またみんなにお届けに市内を走ります。長いお休み中に新しい本を蓄え、ピカピカに磨かれたからだで、またみんなのところにまいります。お楽しみに



どんな新しい本がバスにのってくるかな。お楽しみに！

みなさん、一冊でも多く届け読みでもらいたい！
「たくさんの人と本をつなげる」移動図書館

氷見市立図書館の移動図書館車「のぞみ号」の、あの大きなボディの中には、なんと約2,500冊の子ども向けの本・大人向けの本が積まれています。

かかる人の年齢や、生活スタイルに合いそうな本を担当司書が推測し、運行前に取り揃えて出発しています。日頃、図書館まで足を運べない方に本をお届けするため、現在、市内51か所（小学校・義務教育学校10か所、幼稚園・保育園8か所、学童保育施設等13か所、福祉施設17か所、公民館・交流館3か所）を毎月巡回しています。

■図書館カレンダー(令和7年) 1月

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

【開館時間】(火～金)午前9時半～午後6時 (土・日・祝日)午前9時半～午後5時

【休館日】毎週月曜日、毎月末

貸出手続きを忘れずに！

図書館からの

お願い



必ず貸出手続きをしましょう。
また、貸出手手続き前の本はマイバッグには入れず、手にお持ちになるか、当館のカゴまたは専用透明ビニールバッグをご利用ください。



図書

◎貸出は合計10点まで

[図書10冊まで2週間]

[雑誌10冊まで1週間]

[CD・DVD等5点まで1週間]



■ネット予約について...

新着案内▲

蔵書はホームページから検索でき、貸出中の図書にかぎり、予約申し込みができます。
入力に必要なものは「利用者カードの番号」、「8ヶタのパスワード(西暦の生年月日)」です。



電子
書籍



◎貸出は3冊まで [2週間]

[URL] <https://web.d-library.jp/himilib/g0101/top/>

※氷見市立図書館ホームページの電子図書館バーからもどうぞ。

詳しい操作方法は、電子図書館トップページの
“ご利用ガイド”をご覧ください。



昨年は多くの方に図書館にお越しいただき、誠にありがとうございました。

本年もよろしくお願ひいたします。

読書は感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしてくれます。

今年もそんな読書の楽しみを、たくさんお伝えしていきたいと思います。

菊地正寛 市長に、*インタビュー* MASAHIRO KIKUCHI Interview

新しい一年が始まりました。

年の初めにぴったりな、明るくエネルギーッシュな氷見市のリーダー。

そんな菊地市長に、図書館や本にまつわるお話を伺いました！

—— 子どものころ、読書は好きでしたか。



そうですね、子どもの頃は、親から定期的にいろんなジャンルの本を手渡されるのがとても楽しみでした。もらった日は嬉しく、その本を一晩で読みきっていたぐらいです。

特に伝記が好きでした。ベートーベンやシュバイツァー、豊臣秀吉…など、世界中の偉人の本をたくさん読みました。その他のジャンルもたくさん。

その頃読んだ本を冊数になると、かなりの数になるんじゃないかなと思います。

—— 学生時代、図書室や図書館は利用されていましたか。

小学校では、休み時間はみんなと遊ぶのに一所懸命でした(笑)。毎日友達と一緒に走り回っていたので、図書室にはあまり足を運ばなかったです。

高校の頃になると下校時に、高岡から電車で氷見駅に着き、家までの帰路上に教育文化センターがあるので、勉強やレコードを視聴するためによく図書館に寄っていました。その頃は図書館へは、ほぼ毎日。音楽が好きなので、本当に毎日といつてもいいほどレコードを聴きに通っていました。かなりのヘビーユーザーだったと思いますよ。



—— 心に残っている一冊、影響を受けた本はありますか。

前職のときに、富山の食に携わることになり、その頃に巽好幸(たつみよしゆき)著の『美食地質学』入門という本を読みました。

その内容は、その土地その土地の食物は地形・地質とともに関わりが深いといったことが書かれていたのですが、例えば、「水」。氷見の水は硬水が多く、硬質の水は生臭さをてくれる性質を持っています。魚のまち氷見が、魚はもとより、その水を使って作るお味噌汁は本当に美味しい、わたしたちの住んでいる街の魚料理がすばらしいのは、まさしく理にかなっているんだ、と思いました。

また、硬水は軟水よりも発酵が急速にすすむので、氷見のお酒は喉越しにガツンとくるものが作れる、ということを理解できました。

たくさんのおいしいものがある氷見ですが、これは地形や地質といった自然の恩恵によるところが大きいことがわかる一冊だと思います。



—— 電子書籍に興味はありますか。

あります。今は忙しくまだ利用はしていませんが、これからぜひ利用してみたいですね。

最後に、
新しい年を迎え、市民の皆様、
また、図書館利用者の皆様へ
メッセージをお願いします。

今年は「午年」。馬は力強く前進するイメージがあるので「努力が実る」、「思いが叶う」年だと言われています。

そういうことから、みなさんがこれからも図書館をどんどん利用して、もっといろいろ知識を蓄えてもらって、夢や希望に少しでも近づける、そんな素敵な年になればいいなと思います。

ぜひ図書館を利用してくださいね。

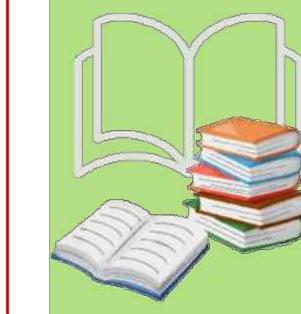
市長、お忙しいところ
ありがとうございました。

もっと知りたい!
おまけ☆

—— 市長が、初めて自分で買った本は何でしたか。

初めて…かどうか覚えていませんが、中学生のときに筒井康隆(つついやすたか)著の『にぎやかな未来』というタイトルのSF短編小説を買ったことは覚えています。たまたま友人が読んでいて、自分も読んでみたら、本当にめちゃくちゃ面白かった!それで自分のお金で買った記憶が残っています。

気になるその一冊を、ご紹介!



『にぎやかな未来』

筒井康隆氏の初期の作品。昭和の懐かしさの中に、シュールで不思議なおもしろさ。ストーリーの展開やオチは想像以上で、あっと驚くこと間違いなし。解説は星新一。未来への警告をコミカルに描いた掌篇集です。



今年も「偶然の一冊との出会い」が、あなたの人生を豊かにしてくれますように。



図書館ってどんなところ?

今回は、【児童室】編



小谷図書館長

児童室が
さらに利用しやすくなつたよ!



企画展示コーナー



新刊(児童書)コーナー



藤子不二雄Ⓐコーナー 読書スペース



図書館は、読む・調べる・知る・楽しむなど色々なことができる場所です。
子どもたちがさまざまな本に出会えるように、そして、子どもたちと一緒に家族みんなが過ごしやすく居心地のよい場所となり、リラックスして過ごしていただけるようになればと思い、児童読書室の配置を見直しました。

カウンターの横を通り階段を降りると湊川が見え、見晴らしも良くなりました。

靴を脱いで子どもたちとゆっくりマットの上で絵本や紙しばいを楽しんだり、椅子に座って図鑑などで調べ物をしたり、さまざまな過ごし方で児童読書室をご利用ください。(児童担当司書より)

1/24 ボランティアグループ「いづみ」の会による
「おはなし会」開催!
日時:毎月第4土曜日 午後2時から
場所:児童読書室
ボランティアグループ「いづみ」の会による、
「絵本・紙芝居」の読み聞かせを行っております。

2/28

3/28



あかちゃんコーナー 大型絵本 紙しばいコーナー マットコーナー